



52年度

「愛知県学校視聴覚教育研究大会」

会場校に城北中・連尺小

昭和五十二年、両崎市放送教育研究大会と愛

知県学校視聴覚教育研究会及び愛知県視聴覚教育

研究協議会の事業を兼ねた「愛知県学校視聴覚教

育研究大会」は、本年十月、城北中学校、連尺小

学校を会場にして開催されることとは決定しま

した。本大会の研究主題は、

「学習意欲を高め、自ら学ぶ力を培うために放

送による学習のあり方とその効果を確かめよう」

・発行日 52・2・17
 ・発行 岡崎市AVL
 ・編集 広報委員会

尺小学校の研究部員、市内視聴覚部員、関連教科
 指導員を中心に構成されている。

各専門委員会での研究内容

△中学校社会科

「テレビ学習を一時完了で計画し、情報処理
 能力の育成と、学習方法の類型に着目させ、自ら
 学ぶ力を育てる」という研究内容を明らかにする
 ために次のことがらについての追求を進めている
 ・教材の精選をはかり、一時間のテレビ学習を取
 り入れた指導過程の確立をはかる。

・情報処理能力、社会科学学習の方法を培うための
 効果的な指導法のあり方を追求する。

・テレビ情報を構造的に把握する能力をつけ、そ
 れを図式化する技術を高める。

・テレビノートの記入内容から、学習意欲や自ら
 学ぶ力を評価するてだてを確立する。

△小学校社会科

前記中学校と基本的には同じ考えで進めている
 現在、来年度の指導計画、テレビ番組関連表の作
 成を急いでいる。

△中学校理科

テレビを授業の中へ取り入れることによつて、
 学習意欲がどのように高まるのか。また、どのよ
 うに対処することによつて、自ら学ぶ力が培える

のかを實際の實驗とのかかわりあい追求する。そして、その結果生徒たちがどのように変容したかも追求する。

・單元への位置づけによつて意欲化をはかる。
・情報処理能力の育成をはかる。(TVノート研究)
・変容過程を追う。(TVノートの推移調査とカテゴリーの研究)

△小学校理科▽

テレビの活用を通して、学習意欲の高まりと、学び方への効果を確かめている。

評価の観点として、テレビ内容と自然の事物現象の変化を類推、類型、比較、分類、応用していく力。テレビから種々の実験、観察などの手法を知り、それを活用する力。

現在、来年度の指導計画、番組関連表の作成をしている。

△中学校英語▽

一、二年生の基本本文導入、復習にテレビの活用をはかり、L1の活用とあわせて、その効果を確実にチェックし、評価としてのデータを残していく。

テレビに期待できるものとしては、①生きた英語

②継ぎの表現 ③場面との習着 ④動作表現

⑤文化的背景 など、中下位生徒には、効果的な

活用がはかられるものと考えている。

△小・中学校道徳▽

望ましい道徳性と実践力を高めるために放送による学習のあり方と、その効果をたしかめよう。

- ・テレビ視聴後話し合つてから感想記入する場合と、視聴後すぐに記入させる場合の比較、
- ・二時間扱いの場合、二時間目のはじめの扱い
- ・一時間扱いでの指導過程
- ・家庭視聴との関連
- ・評価の方法(視聴ノートの分析、親の意見、感想など)

○県自作AV教材コンクールの結果

8ミリ「鬼まつりを演ずる人々」(常磐小)が優秀賞に輝いた。そのほかビデオ「わたしたちの体力づくり」(井田小)「岡崎市制60年の歩み」(VTR作成委)も入賞した。

○新規購入十六ミリ映画紹介 (社教関係)

- ・あなたのためのティブルマナー (二〇分)
- ・地震予知 (二九分)
- ・おじいちゃんの人 (三一分)
- ・高令者と交通安全 (二八分)
- ・花の木村と盗人たち (二六分)